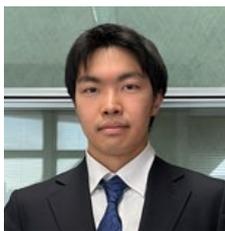


USMLE 合格体験記

順天堂大学では、多くの USMLE 合格者を輩出しています。

合格した皆さんのコメントをご覧ください。

※合格時の学年・コメントを掲載

2023年度	
 <p>医学部 6 年 山本 あかり</p>	<p>私は 6 年生の 6 月に USMLE Step1 を受験しました。</p> <p>国試や卒試の前に、自分に合った勉強方法を確立できたのは USMLE 受験をして良かったことの一つです。勉強方法としては First Aid という参考書に書き込みながら UWorld という問題集を解いていました。また、自分より先に合格した同級生や国際医療同好会の先輩の体験談を参考にして軌道修正していたのも良かったのかなと思います。順天堂には折田先生が部長の国際医療同好会がありますが、そこでの同期や先輩との出会いがなければ、私は USMLE に合格できませんでした。お世話になった先生・先輩方、同期や後輩に心から感謝いたします。ありがとうございました。</p>
 <p>医学部 6 年 稲毛 美月</p>	<p>M5 の 12 月に USMLE step1 に合格することができました。大学には、教材費や受験料の金銭的なサポートだけでなく、講師の先生を招いた勉強会や現在渡米してご活躍されている先輩のお話会の開催など、私たちが勉強できる環境を整え、支援して下さったことに感謝しております。</p> <p>Step1 を乗り越えていく中で自分の中での渡米したいという気持ちを改めて再確認でき、今後 step2 そしてマッチングとまだまだ道のりは長いですが、夢に向かって前進していきます！</p> <p>ここまで支えてくださり応援して下さった先生方、沢山アドバイスを頂いた先輩方、そして一緒に切磋琢磨して頑張ってきた仲間感謝致します。ありがとうございました。</p>
 <p>医学部 6 年 稲田 知華</p>	<p>USMLE Step1 の対策を本格的に始めたのは 9 月頃からで、約 5 ヶ月間問題集を必死に解いては覚えるを繰り返し、1 月末に合格いたしました。試験勉強を始めたきっかけは、大学が提供して下さるジョンスホプキンス大学での外科海外留学に参加するためでした。勉強を通して今までに習った医学の知識も復習することができ、とても有意義な受験でした。Step1 の受験勉強を通して、アメリカでの研鑽にも興味を持つようになり、次の段階の試験も受験しようと思っています。これからも引き続き努力していきたいと思っています。</p>
 <p>医学部 6 年 村越 和輝</p>	<p>受ける前はとてつもなく高い壁に見えていた Step1 ですが、この壁を乗り越えるのに必要なものは医学英単語に対する多少の慣れと、辛くても諦めない意思だと思います。個人的な話ですが、自分の場合は Johns Hopkins 大学での海外実習内定を頂いていなければ、Step1 受験自体がもっと遅れていたと思います。追い込まれる機会としても、プログラムを実現して下さった食道胃の折田先生をはじめとする関係者の方々には頭が上がりません。本当にありがとうございました。</p> <p>学生時代～卒後のキャリアにおける挑戦のひとつとして、米国臨床留学はとても熱い選択肢だと自分は感じております。次は 2CK を目指し、一層勉学に励む所存です。</p>

2022 年度



医学部 6 年
安藤 実

私は将来米国でも臨床医の経験を積みたいと考え、学生の中に USMLE Step1 合格を目標としていました。自己学習のみでは思うように進まずにいたところ、4 年次 3 月から ECFMG 取得勉強会が佐伯先生の元で始まり、オンラインで効率的に勉強を進め、6 年次 4 月に合格しました。その後英語科の浅野先生より ECFMG 取得の条件である OET の受験を勧められ、Mason 先生にご指導いただき合格基準点を超えることができました。先生方からの手厚いサポートで当初の目標以上の結果を達成することができ大変感謝しております。



(左から 2 人目)
大学院医学研究科 1 年
片山 勇魚

2020 年 10 月に順天堂静岡病院へ単身赴任することになり、一人時間を有効活用する目的と、世界基準の知識を持ちたいという思いで Step1 の勉強を始めました。
受験を決めてからは、診療後に函南町のコメダ珈琲店へ通い、閉店まで勉学に勤めました。Step1 の出題範囲は基礎医学ですが、医師となり基礎医学を学び直すことは想像以上に過酷で、茨の道でした。医学部生で受験を考えている方は学生時代に Step1 を取得しておくことを強くオススメします。一方で、受験を検討しておられる先生がおられましたら、ご連絡頂ければ、滑り込み合格法を共有致します。



医学部 6 年
笹山 大樹

アメリカに 2 年間住んでいたことがあり、その経験を医学の分野で活かしたいと思い Step1 を受験しました。対策は 5 年生の秋あたりから始めて、6 年生の 4 月に受験しました。低学年の頃あまり力を入れてこなかった苦手な基礎医学をベースにした試験だったので大変でしたが、病態生理から考える力がつき、視野も広がったことでとてもいい経験になりました。
将来アメリカで臨床医として挑戦するかは分かりませんが、留学など何かしらの形でアメリカの医療を学んで日本の医療に貢献したいと考えています。



医学部 6 年
佐藤 俊意

正直、STEP1 を受験するきっかけはコロナでやる事がなくなったからでした。モチベーションとなる夢や大志を持たず、しかも成績は常に学年下位層、CBT は 112 位の自分が受験するのは、あまりにも無謀でした。途中挫折そうになりながらも合格まで努力できたのは支えてくれた家族、同期の友人のおかげでした。
これから受験する人へ。USMLE は精神との戦いでもあります。自分の夢と大志を、そしてなにより、家族や仲間を大切にして勉強してください。そうすればきっとつらい壁も乗り越えられます。



医学部 5 年
阿保 澄

キャリアパスの選択肢を増やす目的で、比較的時間に余裕のある学生時代に ECFMG Certificate を取得したいと思っています。その第一歩として USMLE の Step1 を受験しました。最初は医学英語や問われる内容が分からず、全力で解いても 1 日数問しか問題集を進められませんでした。そんな私が合格できたのも、ひとえに家族や友人の励まし、そして先生方の温かいご指導のおかげです。この場を借りて感謝申し上げます。

今後は Step2CK を卒業までに取りたいと考えています。将来は外科医となって海外で研鑽を積み、そこで得た学びを日本の医療に還元できる医師になりたいです。



医学部 6 年
深田 英香

医学部入学当初より漠然と将来は海外留学をしたいと考えていましたが、真剣に Step1 の勉強を始めたのは、5 年生の 12 月頃です。コロナ禍で諦めかけていた海外選択実習が再開されることとなり、せっかく頂いた英国での実習の機会を“見学”だけで終わらせず充実したものになりたいという気持ちで頑張り、6 年生の 5 月に Step1 を取得することができました。

教材は問題集 UWORLD と FIRST AID のみに絞り、何度も問題を解きました。また、同級生と早朝から勉強会を開いたのも今では良い思い出です。STEP1 の準備で得た知識は英国での臨床実習で非常に役立ちました。今後は研修に励みつつ、ECFMG Certificate 取得を目指していきたいです。



医学部 6 年
霜田 晴雅

順天堂大学医学部 6 年生の霜田晴雅と申します。この度はこのような機会をいただき誠に感謝いたします。海外留学に対する憧れは低学年の頃から抱いていましたが、どの段階でどのような形で海外に行くかという具体的なビジョンは持っていませんでした。そうこうしているうちに、5 年生の冬になってしまい、将来の選択肢を狭めないためにも今のうちに受験するのが吉と考え受験を決意しました。同じ疾患や治療でも日本の医学教育とはかなり違った視点を学ぶことができる良い機会になりました。世界で通用する臨床医として人の役に立てるように精進してまいります。



医学部 6 年
石塚 ギュウ正也

父がフランス人で、大学入学まで日本以外の国にも長く滞在していたこともあり、海外での臨床留学に興味があったため、Step1 を受験しました。対策は医学部 5 年生の秋頃から本格的に始め、6 年生の 5 月に受験しました。生化学などの基礎医学の細かい知識や日本の国家試験では登場しない疾患も扱うことも多く大変でしたが、その分医学英語はもちろん、身体診察に重きを置いた臨床推論、各疾患の細かな病態生理の深い理解に繋がったと思います。まだ将来の進路は漠然としておりますが、将来臨床留学を通じて何かしらの形で日本の医療の発展に貢献したいと考えております。



医学部 6 年
小野 琳太郎

USMLE と聞くとどうしても敷居が高く、一部の英語が得意な人だけが挑戦するものだと思う人が多いでしょう。しかし、私は帰国子女でも英語が得意だったわけでもありません。ただ友人に誘われて、勢いで始めてしまったただけの人です。後輩に伝えたいのは医療英語を勉強するツールとして USMLE が優れているのはもちろんですが、誰でも挑戦できるものだという事です。なんでもそうですが、初めてしまったら終わらせるしかありません。学生時代の良い思い出だと思って、勢いで始めてみてください。間違いなく大変ですがいつでも相談に乗ります！



医学部 6 年
青島 健人

暇な通学電車内で医学英単語を暗記してみようと思立ちました。語彙が増えていくのが楽しくて続けていくうちに USMLE の勉強もできるかもしれないと思い、勢いで 5 年生の冬に受験勉強を始めました。それから毎日オンライン問題集を演習することが日課となり、1 日 1 時間、受験直前期は 3 時間程度を費やして 6 年生の 11 月に受験しました。私の場合は勉強がマッチングや卒業試験に重なったため、もう少し早く始めるべきでした。ECFMG 取得後の具体的な目標は現在ありませんが、国外の多様な文化、生活を知り、沢山の友人を作り、社会に役立つ人材になりたいです。今後は初期研修中に Step2 を受験したいと思っています。



医学部 6 年
原田 直樹

心臓外科医を志しています。1 年生の最初から、何から何まで医学に対する向き合い方を学びました。卒後は教育してくれた順天堂に対する恩返しをする時期だと思います。心臓外科は技術において時代の流れがあります。心拍動下冠動脈バイパス術、低侵襲心臓手術です。最先端に身を置き、僕も患者の命を救うより良い心臓手術のパイオニアになりたいです。色々な手術や医療を見ると良いと教わりました。東南アジア、アメリカ、ヨーロッパ含めてだと理解しています。今回受けたのは、その内の一つとしてアメリカで技術を学ぶためです。USMLE Step1 を受けるきっかけを与えていただいた方々に感謝しています。自分で患者を救える医師になりたいです。少しでも多くの人に役立てたら嬉しいです。

▼2022 年度表彰式にて



前列左より、深田英香さん、小川理事長、服部前医学部長、安藤実さん

後列左より、阿保澄さん、小野琳太郎さん、佐藤俊意さん、笹山大樹さん、片山勇魚さん

2020 年度

<p>医学部 6 年 肖 東齊</p>	<p>ポリクリ(臨床実習)中に医学英語が全く分からなかったこととポリクリで習った内容を別の角度で勉強したいと思い、Step1を受けました。</p> <p>学外のダンスが忙しく、ポリクリと並行してだらだらと FA (FIRST AID) を読んでいたので、実際に集中して勉強したのは1ヶ月くらいです。Step2CKは国家試験後の6年生の春休みに受験しました。ECFMG Certificate の取得はなるべく早く終わらせて、将来の専門科の勉強に集中したいです。</p> <p>日本ではまだ手薄な技術や学術をアメリカで勉強して、日本に持ち帰りたいと思います。また、世界中の友達をたくさん作りたいです。</p> <p>【下級生へのアドバイス】「将来は絶対アメリカで臨床をやりたい」と考えている人は学生の内にどんどん勉強して受験することをオススメします。まとまった時間が取れるのは学生時代だけです。学生時代を通して、自分が興味を持ったことに対して最後までやり通すと少し大きくなれた自分を実感できると思いますし、今後出会う困難に立ち向かう上でのバックボーンになると感じます。</p>
<p>医学部 6 年 平松 永彬</p>	<p>Step1 を受けたのは、普通とは少し違うことをしたいという、自己顕示欲でしょうか。</p> <p>本腰を入れて勉強したのは、卒業試験が終わってから、受験日までの、2ヶ月弱です。FA を読んで暗記していました。Step2 は今年の12月を目標にしています。今後は、脳神経内科医として、臨床で役に立つ人材になることが目標です。アメリカでは、さまざまな医師や研究者の生き方を知り、自分の科学者としての考えを磨き上げていきたいと思っています。</p> <p>【下級生へのアドバイス】自分はこの6年間、常に勉強の仕方に悩まされてきました。同じように悩んでいる方は、まず、自分が置かれている物質的な環境を見直すべきだと思います。また、暗記に悩まれている方は、フラッシュカードツールの「Anki」の使用を強く推奨します。</p>

▼2020 年度表彰式にて



左から 服部前医学部長、肖東齊さん、平松永彬さん、小川理事長